

# 名瀬保健所感染症情報

2019年第6週（平成31年2月4日～平成31年2月10日）

【お問い合わせ先】 〒894-8501 鹿児島県奄美市名瀬永田町 17-3 大島支庁保健福祉環境部（名瀬保健所）  
 TEL (0997) 52-5411 / FAX (0997) 53-7874 / E-mail oosima-sippeitaisaku@pref.kagoshima.lg.jp  
 大島支庁 URL <https://www.pref.kagoshima.jp/ac01/chiiki/oshima/index.html>

## 全数把握疾患の報告数

\* [ ] 内は本年の累積患者報告数

種別	名瀬保健所管内	鹿児島県(速報値) ※ 修正される可能性があります。
一類感染症		
二類感染症		結核1[34]
三類感染症		
四類感染症	レジオネラ症1[1]	日本紅斑熱1[1], レジオネラ症1[1]
五類感染症		急性脳炎1[6], 侵襲性肺炎球菌感染症2[3], 梅毒1[3], 百日咳20[74]

## 定点把握疾患の報告数

\* 警報レベルにあるもの: ○, 注意報レベルにあるもの: △

疾患名	警報基準値			注意報基準値	名瀬保健所								鹿児島県(速報値) ※ 修正される可能性があります。			
	開始基準値	終息基準値	すべて定点当たり報告数		4週前	3週前	2週前	1週前	今週				今週			
					報告数(人)	定点当たり報告数(人/定点)	前週からの増減	警報注意報	報告数(人)	定点当たり報告数(人/定点)	前週からの増減	警報注意報				
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	32.40	26.00	35.00	40.60	90	18.00	↓	○	2349	25.53	↓	○	
RSウイルス感染症	-	-	-							→	-	26	0.48	↗	-	
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-				0.33	1	0.33	→	-	47	0.87	↗	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	1.00	0.33		1.67	3	1.00	↓	-	149	2.76	↗	-	
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	0.33	1.00	1.33	0.67			↓	-	488	9.04	↓	-	
水痘	2.00	1.00	1.00			0.33	0.33			↓	-	30	0.56	↓	-	
手足口病	5.00	2.00	-	0.33	1.00	1.33	1.33	8	2.67	↗	-	8	0.15	↓	-	
伝染性紅斑	2.00	1.00	-							→	-	6	0.11	→	-	
突発性発しん	-	-	-	0.67			0.33			↓	-	13	0.24	↓	-	
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-							→	-	1	0.02	↗	-	
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00							→	-	7	0.13	↓	-	
急性出血性結膜炎	1.00	0.10	-											→		
流行性角結膜炎	8.00	4.00	-									12	1.71	↓		
細菌性髄膜炎	-	-	-							→	-			↓	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-							→	-			→	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-							→	-			↓	-	
クラミジア肺炎	-	-	-							→	-			→	-	
感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるもの)	-	-	-							→	-	1	0.08	↗	-	
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	-	1	2	4		3		↗	-	集計中		↗	-	

## 注意すべき感染症

管内及び県内は、流行発生警報レベルです！

### ○インフルエンザ

今週、名瀬保健所管内における定点医療機関（内科・小児科 5 か所）から、前週より 113 人少ない 90 人（定点当たり 18.00 人）のインフルエンザの患者報告（大半 A 型）があり、流行のピークは過ぎたものの、5 週連続で流行発生警報基準値（終息基準値：定点当たり 10.00 人） \*を超えています。年齢別では、5～9 歳（定点当たり 4.40 人）、0～4 歳（3.80）、15～19 歳（2.40）の順に多い状

況です。また、基幹定点医療機関（1か所）から、3人のA型インフルエンザによる入院患者の報告がありました。今週、管内の学校等における臨時休業は1校（学年閉鎖：宇検村の中学校）で、今シーズンの累計は4校で、施設内集団発生は、2件（乳幼児施設及び高齢者施設）の報告がありました。

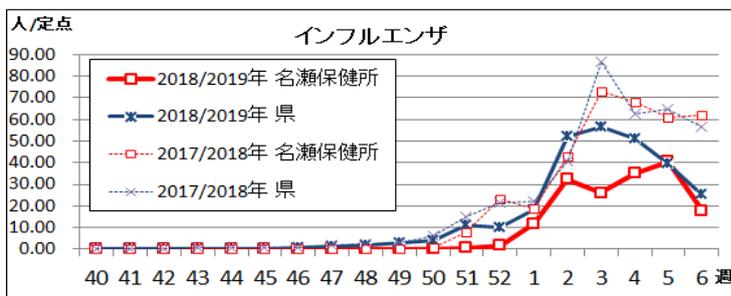
県全体では、前週より1,284人少ない2,349人（定点当たり25.53人）に減少したものの、5週連続で流行発生警報基準値（終息基準値：定点当たり10.00人）\*を超えています。年齢別では、5～9歳（定点当たり7.92人）、0～4歳（6.42）、10～14歳（4.14）の順に多い状況です。保健所別では、鹿屋（定点当たり44.38人）、川薩（38.71）、志布志（34.00）、指宿（30.33）、鹿児島市（30.13）、始良（21.36）、伊集院（21.17）等、12保健所管内が流行発生警報基準値\*を超えています。

なお、今週、県内における学級閉鎖等は、18校（学年閉鎖5、学級閉鎖13）で、昨年9月以降の累計は127校となっています。

今シーズンに全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09（57%）、AH3（42%）、B（1.5%）の順に多いですが、今年に入ってからAH3の検出割合が増えています（2月13日時点）。

また、抗インフルエンザウイルス薬に対する耐性株は、AH1pdm09亜型のウイルスでは、商品名ゾフルーザに対し1.4%、タミフル・ラピアクタに対し各0.2%の耐性があり、AH3亜型では、ゾフルーザに対し10.9%の耐性が確認されています（2月12日時点）。

\* 流行発生警報基準値（開始基準値：定点当たり30.00人、終息基準値：10.00人）とは、大きな流行が発生、又は継続しつつあると疑われることを指します。



飛沫感染対策としての「咳エチケット」、接触感染対策としての「液体石けん・流水による手洗い」を徹底し、集団生活施設においては、さらに共用部分の消毒、温度湿度管理、有症者の早期探知・早期対応と集団感染の場合等、厚生労働省通知に基づく保健所への迅速な報告をお願いします。

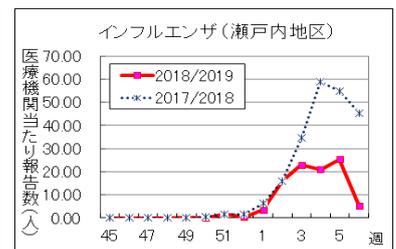
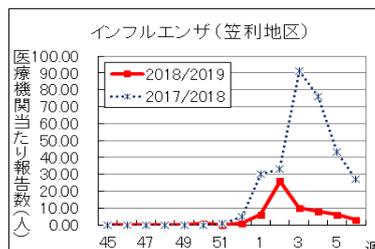
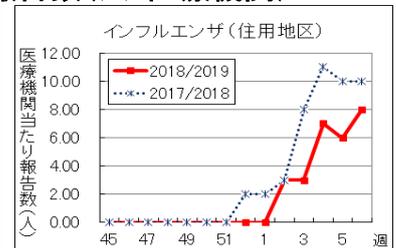
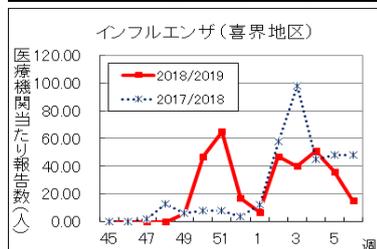
### 学校における感染症による出席停止の状況(感染症情報収集システムから抽出)

学校種別	インフルエンザ					A型インフルエンザ					B型インフルエンザ					溶連菌感染症					
	幼保	小	中	高	他	幼保	小	中	高	他	幼保	小	中	高	他	幼保	小	中	高	他	
奄美市		5	8	6			4	3	4				1			1					
大和町																					
宇検村		2						7													
瀬戸内町		2						7													
龍郷町																					
喜界町								1													
計	0	9	8	6	0	0	12	10	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	

\* ソフト登録時の疾患名に因る（疑いを含む。）。

### 参考: 今週の各地区におけるインフルエンザの医療機関当たり報告数(人/医療機関)

地区(医療機関数)	名瀬(4か所)	住用(1か所)	笠利(1か所)	瀬戸内(2か所)	喜界(1か所)
インフルエンザ [A型:B型]	22.00 [27:1]	8.00 [Aのみ]	3.00	6.50 [Aのみ]	15.00
咽頭結膜熱	0.33				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00				
感染性胃腸炎		2.00	1.00		
手足口病	2.67				



\* 定点医療機関及び協力医療機関からの地区別の医療機関当たり報告数です。(注)各地区の人口規模や受診状況が異なるため、地区間比較には使用できません。